



世界もあなたも、可能性に満ちている。

NEWS LETTER

二本松青年海外協力隊訓練所

# ADATARA

Vol.57 派遣前訓練内容紹介特別号



## 特集 1

『四季を感じられる  
訓練所』

.....  
様々な顔を持つ訓練所を  
ご覧ください！

## 特集 2

『派遣前訓練とは』

.....  
終了した（休止中含）  
講座もあわせて大紹介！

## 特集 3

『訓練所の気になる  
アレコレ』

.....  
普段何気なくみている  
アレやコレ...  
こんな意味が!?

Nihonmatsu  
Training Center

リアルタイム情報は  
コチラ⇒⇒⇒



# 『四季を感じられる訓練所』

様々な顔を持つ訓練所をご覧ください！

春



## 朝河桜

『朝河桜』とは、語学の天才とも言われた二本松市の世界的な歴史学者・朝河貫一博士ゆかりの桜です。朝河博士には、明治時代の尋常中学校生徒の時には完璧な英語でスピーチをして外国人講師を驚かせ、英英辞典を1冊全て暗記したというエピソードも残っています。暗記したその英英辞典は福島県郡山市にある安積高校の校庭の桜の木の下に埋めたとされているのが「朝河桜」です。朝河博士の努力と勤勉、そして世界で活躍した功績にあやかって「にほんまつ地球市民の会」から寄贈・植樹されました。朝河桜の隣には、20年前に皇太子・同妃両殿下が行啓された際の記念植樹の桜や、訓練を修了した記念に有志が植樹していった桜やリンゴの木もあります。ちなみに、訓練所の桜の見頃は4月末前後です。

夏



## LA MER(ラ・メール)像

訓練所は夏でも涼しく、とても過ごしやすいです。朝のランニング(任意)等の運動のために、玄関前に多くの人が集まります。玄関前には『LA MER(ラ・メール)像』(フランス語で海のこと)があり、これは福島県伊達市出身の彫塑家 太田良平氏の作品です。1998年にご家族から寄贈いただきました。

秋



## 秋晴れ

訓練所内の木々が赤く色づく秋は、空も空気も澄んでおり、スタッフにも人気の季節。少し肌寒いですが、日本百名山に数えられる安達太良山が色づく姿は圧巻です。



## 雪帽子の無事カエル

『無事カエル』とは、訓練所開所の翌年 1996 年に、にほんまつ地球市民の会より寄贈された二本松訓練所のシンボルです。同会は、訓練所の設立を機に市民と訓練生の交流を目的に発足され、いつも訓練生を応援してくださっています。

# ほんとの空

高村高太郎氏の智恵子抄  
“あどけない話”で唄われた『ほんとの空』は福島県にあります。智恵子氏は福島県、安達出身。

智恵子は東京に空が無いという  
ほんとの空が見たいという  
私は驚いて空を見る  
桜若葉の間に在るのは  
切っても切れない  
むかしなじみのきれいな空だ  
どんよりけむる地平のほかしは  
うすもも色の朝のしめりだ  
智恵子は遠くを見ながら言う  
阿多多羅山の山の上に  
毎日出ている青い空が  
智恵子のほんとの空だという  
あどけない空の話である。

(出典:智恵子抄)



# 『派遣前訓練とは』

終了した(休止中含)講座もあわせて大紹介! ※書ききれない講座多数



## 語学

語学教室の近くの看板には“Speak your target language.” 日常的に訓練言語を話す習慣づけを行っています。任地で活動するために必要となる言語に関し、基礎的知識と実践力を身に付けることを目的とする語学訓練では、少人数制で密度の濃い授業を受けることが可能です。二本松訓練所では約 20 言語を学ぶことが出来、初めての言語を学ぶ訓練生も、訓練修了後には、JICA 海外協力隊としての派遣に必要な基礎力を備えます。



体力維持講座でラジオ体操実践中



任意講座で竹炭焼き体験

### ～座学形式～

- JICA 事業概要
- 戦後日本の国際協力の歩み
- 青年海外協力隊の歩みと理念
- あなたの赴任国と HIV/AIDS
- ジェンダー主流化への取り組みの好例
- SDGs 達成に向けた JICA の取り組み

## JICA海外協力隊の基礎

国際協力に関する基礎的知識を得るとともに、JICA 海外協力隊として必要な態度や心構えについて理解を深めます。



## 活動手法

目標設定や進捗管理等の知識、コミュニケーションスキルや現地の状況に応じて専門知識・技術を活用する方法を学びます。



救急法



海外における安全対策(匍匐前進)

## 健康管理・安全オリエンテーション

健康管理や安全管理に関する知識を身に付け、日本と異なる環境の中で、心身の健康や安全に配慮して活動・生活する意識を身につけます。

特集3

『訓練所の気になるアレコレ』 普段何気なくみているアレやコレ…こんな意味が!?



『生命の星』って知ってますか?

訓練所エントランスには、砥部焼の大きな白い地球儀があります。元青年海外協力隊フィリピン隊員の白瀧八洲彦氏が「世界平和とかけがえのないグリーンな地球を守りたい」との祈りを具現化するために完成した壺です。これは、1993年、G7東京サミット開催時に当時の柳谷健介 JICA 総裁、及び末次一郎青年海外協力隊を育てる会副会長両氏の尽力により、G7プレス会議場ホテルロビーに設置されました。その後、二本松訓練所に寄贈されました。

実は、『生命の碧い星』というものもあるらしい…。  
『生命の星』を目にした有識者の反響が大きかったことから、同氏の出身地である愛媛県砥部町の発意により、新たに「世界平和と環境保護」の願いを込めた碧い地球儀が制作されました。1995年国連創立50周年記念として、外務省関係者のご配慮により、世界各国からの寄贈候補の中から、国連欧州本部軍縮会議場前ロビーへの設置品として決定されました。



KIOTSUKETE池・無事カエルのお由来  
この調整池にKIOTSUKETE池と名付けたのは、訓練所最初の総務生である平成5年度第3次隊員で、小さな番付は、この池を囲った7年度1次隊員が、池に餌を泳がせるつもりで「カンパチコイ」を入れ、手取りで飼ってました。開発途上国へ家立つにあたり7日飼を過ぎたこと二本松訓練所を第二の故郷として、また青森の思い出の地としてこの調整池に「餌を付けて行け」と名付けたものです。  
無事カエルは、「にほんまつ地球市民の会」が6年度2次隊の隊了式に併せ、2年間の任務を全し全員の帰国を祝し、再びこの池を訪れてほしいという願いを込めて設置したものです。



訓練所入り口には、『KIOTSUKETE池』と『無事カエル』が設置されています。にほんまつ地球市民の会のみなさまに寄贈いただいた『無事カエル』は、訓練生の任期全う、無事帰国を待っております。



訓練所は『鳥』をモチーフとして建てられ、『はばたき』、『成長』の象徴として大空に飛び立つ鳥を表現した建物構成になっています。建物の外観を眺めると鳥がイメージできるデザインが見られます。

地域のJICA窓口！  
JICAのJICAデスクのご紹介

お気軽にご連絡ください!

【JICA 福島デスク】 松山 里美

TEL : 080-2809-5543

E-mail : jica\_fukushima\_desk@jica.go.jp

福島県福島市舟場町 2-1 福島県庁舟場町分館 2 階 (公財) 福島県国際交流協会内

【JICA 郡山デスク】 室井 研一

TEL : 080-3148-2105

E-mail : MUROI-Kenichi2@jica.go.jp

福島県郡山市朝日一丁目 23-7  
郡山市役所西庁舎 4 階  
郡山市役所産業政策課内

悩みはここで解決!

なんでも相談窓口

JICA 二本松訓練所のホームページでは、JICA 海外協力隊についてなんでも相談できます! JICA 海外協力隊に関すること、イベント、JICA 二本松施設訪問、講師派遣依頼など、些細なことから難しいことまで担当スタッフが丁寧に対応致します!ぜひご相談ください!

JICA 二本松 なんでも相談窓口

検索

発行元

独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局  
二本松青年海外協力隊訓練所

〒964-8558 福島県二本松市永田字長坂 4-2  
Tel: 0243-24-3200 Fax: 0243-24-3214